

目 次

第1部 総 説

はじめに	1
第1章 環境問題の動向	1
第1節 本県における環境問題の変遷	1
第2節 最近の環境問題	2
第2章 本県の最近の取組	4
第1節 循環型社会の構築	4
第2節 ちば環境再生計画の推進	5
第3節 生物多様性の保全	6
第4節 自動車排出ガス対策への新たな取組	7
第5節 産業廃棄物の不適正処理対策	11
第6節 三番瀬の再生の取組	14
第7節 地球温暖化防止対策	15
第8節 NPO等との連携の推進	16
第9節 その他の取組	17
1 閉鎖性水域の水質保全対策	17
2 千葉県射撃場の鉛等の環境保全対策	18
3 環境保全に関する率先した取組	18
4 環境新技術の開発支援に向けた取組	18
第3章 環境施策の展開	19
第1節 総合的環境施策の推進	19
1 ちば新時代環境ビジョン	19
2 千葉県環境基本計画	19
第2節 地球環境問題	20
第3節 自然環境	21
第4節 大気環境	22
第5節 自動車交通公害	23
第6節 騒音・振動・悪臭	24
第7節 水環境	25
第8節 地質環境	27
第9節 一般廃棄物	27
第10節 産業廃棄物	28
第11節 化学物質	30

第4章 環境学習の推進	31
第1節 環境学習の必要性	31
第2節 環境学習の基本的な考え方	31
第3節 環境学習の展開	34
第4節 パートナーシップの構築に向けて	36

第2部 環境の現状と対策

第1章 総合的環境保全対策の推進	39
第1節 千葉県環境基本計画	39
第2節 千葉県資源循環型社会づくり計画	43
第3節 ちば環境再生計画	45
第4節 千葉県エコタウンプラン	48
第5節 環境マネジメントシステム	48
第6節 エコテク・サポート制度 ～環境新技術推進制度～	56
第7節 公害防止計画	56
第8節 公害防止協定	60
第9節 環境影響評価制度等	63
第10節 美しいふるさとづくり	67
第11節 千葉県地域環境保全基金	70
第2章 地球環境	71
第1節 地球規模の環境問題	71
第2節 地球環境保全に向けた取組	72
1 国際的な取組	72
2 日本の取組	72
3 千葉県の取組	73
4 主な地球環境保全対策	73
5 国際環境協力の推進	74
6 関係地方公共団体との協力	75
第3章 自然環境	76
第1節 自然環境の体系的保全	76
1 施策の総合的推進	76
2 自然環境保全地域等の指定と保全	78
3 自然環境保全基礎調査等の実施	78
4 協定等による自然環境の保全	78
5 みどりの基金の造成	79
第2節 自然公園の保護と利用	79
1 自然公園の指定	79
2 自然公園の保護管理	79

3	自然公園の施設整備	79
第3節	生物の多様性の確保	80
1	野生生物の生息・生育状況	80
2	生物の多様性の確保対策	81
第4節	鳥獣の保護管理	81
1	鳥獣の保護	81
2	鳥獣の管理	82
3	鳥獣による農作物等被害対策	82
4	狩猟の適正化	82
第5節	自然とのふれあいの確保	83
1	ふれあいのための施設整備	83
2	ふれあいの機会の創出	84
第6節	森林の保全	84
1	森林の現状	84
2	森林の保全対策	84
第7節	都市の自然環境の保全	85
1	緑の基本計画と県広域緑地計画	85
2	都市公園の整備	87
3	都市の緑地等の保全	87
第8節	文化財の保護	90
1	史跡名勝天然記念物の指定	90
2	保護対策	90
第4章	大気環境	92
第1節	大気汚染の現状	92
1	発生源の状況	92
2	汚染物質別の概況等	93
第2節	大気汚染防止対策	100
1	発生源対策	100
2	緊急時対策	105
3	監視体制の整備	106
4	大気情報管理システムの整備	107
第3節	大気汚染による影響・被害	107
1	健康被害	107
2	農作物被害	109
第5章	騒音・振動	110
第1節	騒音の現状	110
1	苦情の実態	110
2	発生源の状況	110
第2節	騒音防止対策	111
1	規制及び監視	111
2	指 導	112
3	今後の対策	113

第3節	振動の現状	113
1	苦情の実態	113
2	発生源の状況	113
第4節	振動防止対策	114
1	規制及び監視	114
2	指 導	116
3	今後の対策	116
第6章	航空機騒音	117
第1節	航空機騒音の現状	117
1	成田空港の航空機騒音	117
2	その他の航空機騒音	118
第2節	航空機騒音防止対策	119
1	成田空港の騒音対策	120
2	その他の航空機騒音対策	123
第7章	自動車交通公害	124
第1節	自動車交通公害の現状	124
1	自動車保有台数と走行量の状況	124
2	道路沿道の大気汚染状況	124
3	自動車交通騒音振動の状況	126
第2節	自動車交通公害防止対策	127
1	自動車単体規制の強化	128
2	車種規制の実施	130
3	低公害車等の普及促進	130
4	交通量抑制対策	131
5	自動車騒音及び道路交通振動の対策	132
6	局地対策	132
7	条例に基づくディーゼル自動車排出ガス対策	133
第8章	悪 臭	134
第1節	悪臭の現状	134
1	苦情の実態	134
2	畜産農業に係る悪臭	134
第2節	悪臭防止対策	134
1	規制及び監視	134
2	指 導	135
3	今後の対策	137
4	関連対策	137
第9章	水 環 境	138
第1節	水質汚濁の現状	138

1	水質汚濁の主な要因	138
2	公共用水域等の状況	139
3	水質汚濁による影響・被害	144
第2節	水質保全対策	146
1	公共用水域の監視	146
2	工場・事業場の規制・指導	146
3	印旛沼・手賀沼の水質保全対策	149
4	東京湾の水質保全対策	151
5	生活排水対策	152
6	水道水源の水質保全対策	153
7	関連基盤整備対策	153
第10章	地質環境	157
第1節	地盤沈下の現状と対策	157
1	地盤沈下の状況	157
2	地盤沈下防止対策	161
第2節	地下水汚染の現状と対策	166
1	地下水汚染の状況	166
2	地下水汚染防止対策	170
第3節	土壌汚染の現状と対策	171
1	農用地の土壌汚染の現状	171
2	農用地の土壌汚染防止対策	171
3	市街地の土壌汚染防止対策	172
第11章	廃棄物	173
第1節	一般廃棄物	174
1	一般廃棄物の現状	174
2	一般廃棄物処理対策	177
第2節	産業廃棄物	183
1	産業廃棄物の現状	183
2	産業廃棄物処理対策	185
3	関連対策	189
第12章	化学物質	192
第1節	P R T R制度（環境汚染物質排出・移動登録制度）への取組	192
1	化管法の概要	192
2	P R T R制度の活用	193
第2節	千葉県化学物質環境管理指針	193
1	事業者による自主管理の促進	193
2	千葉県化学物質環境管理指針の概要	193
第3節	ダイオキシン類対策	195
1	ダイオキシン類	195
2	国の取組	196

3	県の取組	197
4	県の対策	198
5	日常生活の留意事項	198
第4節	内分泌かく乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）への対応	200
第13章	地域環境活動	209
第1節	市町村の取組	209
第2節	事業者の取組	210
第3節	県民の取組	210
第14章	その他の環境保全対策	212
第1節	公害紛争・公害苦情の処理	212
第2節	環境犯罪の取締り	212
第3節	環境保全に関する調査・研究の推進	214
第4節	融資・助成制度	217
第5節	特定工場における公害防止組織の整備	218
第6節	環境モニター制度	220
第7節	関係地方公共団体との協力の推進	220
第8節	市町村の環境保全対策	220

資料編（目次は資料編の冒頭に記載）

- 1 環境行政の推進体制
 - 2 法令等の整備
 - 3 大気環境
 - 4 水環境
 - 5 地質環境
 - 6 騒音・振動
 - 7 廃棄物
 - 8 化学物質
 - 9 自然環境
 - 10 地域環境活動
 - 11 環境行政一般
- 環境用語解説（本文中*印のある用語等について解説）

- ・本白書は、平成13年度の環境の現状とその対策をまとめたものですが、平成14年度の事項についても一部記述することとしました。
- ・昭和及び平成の元号は原則として省略しております。